

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2024年度	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		環境園芸学科		
科目名称	教職概論					授業形態	講義		
科目コード	750064	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○
担当教員名	植村 秀人							ICT活用	○
授業概要	<p>教育職員免許法では、教員免許状取得のためには、「教職の意義などに関する科目」の履修を課している。教員の仕事を考えるときに現代は、教員の協力が重視されている。これは、同一校種間だけでなく、同校種間や異なる校種間に置いて同じである。本科目では、学校間の連携の視点も含めたなかで、教師の仕事について学ぶこととする。このことによって、中学校、高校、栄養教諭という狭い範囲だけでなく、日本の公教育全体における教諭の役割を踏まえた教師の資質を育てることにつながる。また、本講義は、教職課程導入科目である。このため、教育職員免許法で指定されている内容は当然行うが、上記の中でも重要な3年6カ月間の学習に必要な、教職への意識や意欲を形成し高めることも目的とする。</p>								
関連する科目	<p>本科目は前期集中講義として実施予定。前期通常開講の日本国憲法を履修すること。また、教職課程資格審査及び今後の履修を考慮して前期履修状況を良好とするよう努力していただきたい。 本科目受講後は、教職課程開講科目教育学概論や取得免許に関係する学科専門科目等を履修要項に基づいて履修していくこととする。</p>								
授業の進め方と方法	<p>本授業は、講義形式で実施する。一部の回では、受講者同士の意見交換などを取り入れ、受講者が主体的に学ぶようにする。</p>								
授業計画【第1回】	<p>はじめに～教員になるために（テキスト第1章）～ 教員の意義や教員を目指す上での留意点を中心に扱う。</p>								
授業計画【第2回】	<p>教員とは何か～教員養成の歴史（テキスト第2章）～ 教員に求められる資質能力の変化から教員養成のあり方も変わってきたことを中心に扱う。</p>								
授業計画【第3回】	<p>教師の仕事と法律1～学校教育法の規定を知る（配付資料）～ 学校教育法における教諭・栄養教諭を含む教職員の規定を中心に扱う。</p>								
授業計画【第4回】	<p>教師の仕事と法律2～教員の服務と法規上の留意点（テキスト第8章）～ 教員の服務・身分保障を中心に扱う。</p>								
授業計画【第5回】	<p>教員の仕事1～校務分掌と教員組織、チーム学校（テキスト第5章及び第6章）～ 校務分掌と教員組織及びチーム学校を中心に扱う。</p>								
授業計画【第6回】	<p>教員の仕事2～「教員の日」および「教員に求められる事務能力」（テキスト第7章および第9章）～ 教員の仕事の概要について扱う。</p>								
授業計画【第7回】	<p>教員の仕事3～学級運営（テキスト第10章）～ 学級運営について扱う。</p>								
授業計画【第8回】	<p>教員の仕事4～児童生徒への対応（テキスト第11章）～ 児童生徒への各種教育活動について扱う。</p>								
授業計画【第9回】	<p>児童・生徒と教育課題1～保護者への対応（テキスト第12章）～ 保護者への対応（児童虐待問題を含む）を扱う。</p>								
授業計画【第10回】	<p>児童・生徒と教育課題2～いじめと不登校、学校安全（テキスト第13章及び第14章）～ いじめと不登校問題、学校の安全問題を扱う。</p>								
授業計画【第11回】	<p>教師としての資質の獲得とその向上1～学び続ける教師（テキスト第4章）～ 教員育成指標を中心に扱い、研修やキャリア形成について考える。</p>								

授業計画【第12回】	教師としての資質の獲得とその向上2～教員として必要な資質とは何か？①（講義）～ 教員として必要な資質について考える。
授業計画【第13回】	教師としての資質の獲得とその向上3～教員として必要な資質とは何か？②（演習・グループ討議）～ 教員として必要な資質について意見交換する。
授業計画【第14回】	教師としての資質の獲得とその向上4～教員として必要な資質とは何か？③（発表）～ 教員として必要な資質について発表する。
授業計画【第15回】	おわりに～採用試験と授業のまとめ（テキスト第3章・第15章）～ 教員採用試験について知る。授業のまとめ。
授業の到達目標	①教員の仕事内容と仕事の特性について理解する。 ②教職の専門性について理解する。 ③教員と関連する法令について理解する。 特に、学校教育法および教育公務員特例法・地方公務員法の関連条文を理解する。 ④現代教育の課題と教員の役割について理解する。 特に、いじめ・体罰・児童虐待・児童の貧困問題への理解、近年の教育改革の同校と教員の資質向上など。 ⑤①～④を踏まえ教職課程の受講者としての姿勢を考え、教員免許取得だけでなく教員として必要な資質について理解する。
学位授与の方針(DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)
授業時間外学習【予習】	1. 事前にテキスト（第1章から第15章）を読み理解すること（各章1時間程度）。 2. 事前レポートを作成すること（4時間）。レポート課題については、備考欄に記載。 3. グループワークの資料を準備すること（1時間）。
授業時間外学習【復習】	1. レポート作成（各回10時間程度） 2. テキスト・配付資料などの振り返り（8時間）
課題に対するフィードバック	紙媒体の提出物は、返却する。この際に評価のポイントなどを簡潔に説明する。
評価方法・基準	①事前レポート 10点 ②事前課題とそのグループワーク 10点（3日目3時限目の活動も含む） ③グループワークA 20点 ④グループワークB 5点 ⑤授業姿勢 5点 ⑥当日授業記録 30点 ⑦レポート 20点 注意 注意1：本科目は、集中講義ですが、「①事前レポート」「②事前課題」は講義開始前に取り組むものとなります。履修者確定後にユニバで配信するので確認し、期日前に準備すること。 注意2：「①事前レポート」「②事前課題」は、指定日までに提出すること。指定日以後の提出の際には、該当項目の評価は行わない。 注意3：「①事前レポート」「②事前課題」は、課題と課題を用いたグループワークを評価する。 注意4：「③グループワークA」は、最終日に実施するグループワーク（個人・グループ）及び発表への評価とする。 注意5：「④グループワークB」は授業中のグループ学習について成果物を含めた評価を5点満点にて換算する。 注意6：再試は、追加レポートにて行う。当初の点数を50%と換算し、レポート50点で評価する。ただし、成績上限を超えた場合には成績上限の点数とする。 注意7：「③グループワークA」は、当日の欠席の場合は、欠席者のみで別日程で都城キャンパスでグループワークを行う予定。ただし、少人数の場合は代替レポートを課す。なお、別日程でのグループワークは欠席不足を行う補講とはしない。
テキスト	『教職論』ミネルヴァ書房、 広岡義之 監修・編著、林泰成・貝塚茂樹・津田徹 編著、2021年11月25日、ISBN9784623089567、定価2,640円(本体2,400円+税)。 テキストについて補足 1 授業のほぼすべての回においてテキストを使用しますので購入してください。 2 履修者が確定しましたら大学生協売店に必要な分を発注いたします。 3 授業計画の順番で実施いたしますので、ご注意ください。
参考書	『教職概論 教師の仕事の本質と実際』 『教職概論 第4次改定版 ?教師を目指す人のために?』 佐藤晴雄 学陽書房 教育制度論、教育六法 田中克佳 教育史 加野芳正 新しい時代の教育社会学 木村元 日本の学校受容 片桐芳雄・木村元 教育から見る日本の社会と歴史 神田嘉延 増補版『学校再生論の礎石?人間・国家・地域と学校?』 高文堂出版社 安彦忠彦・石堂常世 編著 『最新教育原理』 勁草書房 その他、講義中に適宜指示する。

備考	<p>本授業は、現時点で夏休みの集中講義として実施予定です。以下の点、確認してください。</p> <p>1 提出物の提出方法などについて 受講者が多いので提出物は、ユニバによる提出を求める場合と紙媒体で求める場合に分かれますご注意ください。 個別の提出方法については、「事前レポート」「事前課題」は履修者確定後にユニバにて配信いたします。それ以外は、授業時に指示します。</p> <p>2 「事前レポート」「事前課題」は、履修後に正式に配信しますが、下記のような課題内容とします。</p> <p>①「事前レポート」 「事前レポート」は、教員を目指すことや本講義を受けるにあたっての意識づけを目的としています。 「あなたの『理想の学校』とはどんなものですか、その学校であなたはどのように教員として活躍したいですか。」と題してレポートをワードソフトにて作成して下さい。</p> <p>提出先など (1) 提出先 各キャンパス学生支援課窓口(窓口に提出用のボックスを設置する予定です) (2) 期日などは 別途案内します</p> <p>作成にあつての注意点 (1) 字数 1200字以内とすること。題目や氏名などの記載事項は字数に含まない。 (2) 印刷の設定 A4縦長サイズ、両面印刷で2ページ以内(レポート本文が1枚)とすること。 (3) 文章形式 横書き 明朝体 10.5ポイントで作成すること。 (4) 記載事項「令和6年度教職概論 事前レポート」・(レポート)題目(題名のこと)・学科・学籍番号・氏名を必ず記載すること。 (5) その他 準備している表紙を付け、必要事項を記載して提出すること。 (6) なお、本件については、受講生各自の考えを問うものです。間違ってもコピーや自動作文AIなどを使用しないこと。使用した場合は、本授業の成績を0点とします。</p> <p>②「事前課題」 第3日目第11回講義において「教職員育成指標」を取り上げます。 教職員育成指標は、各都道府県・政令市で公表されております。この育成指標を各自で調べるのが事前課題となります。 調べた教職員育成指標について、記録を作成してもらいます。 本件に関する事項もユニバでお知らせいたします。 なお、次の点にご注意ください。「教職員育成指標」と検索すると指標は出てきますが、どの都道府県か不明となりますので、そのような形態での検索はしないでください。</p> <p>3 レポート 下記のテーマにて2000字以内にてレポートすること。 レポート「講義内容を踏まえ、教員の仕事や氏名についてまとめ、あなたの意見を述べなさい。」 ※その他詳細は、授業時に案内します。</p> <p>以上</p>
----	--